



- 所在地 羽曳野市西浦二丁目
- 敷地面積 31,315平方メートル
- 建築面積 7,197平方メートル(増築含む)
- 延床面積 17,945平方メートル(増築含む)
- 構造階数
 - 既存校舎 鉄筋コンクリート造 地上4階建
 - 既存体育館 鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造) 地上3階建
 - 増築小学部棟 鉄筋コンクリート造 地上2階建
 - 渡り廊下ほか 鉄骨造
- 工事期間 平成25年12月から平成27年2月
- 設 計 浦辺設計・新日本設備計画設計共同企業体
- 施 工 株式会社NIPPO
- 請負金額 1,549,800千円

敷地は河内平野にあって、西方向には百舌鳥・古市古墳群が展開する歴史的な地区にあり、地形・景観的には西方向に羽曳野丘陵がせまり、東側に二上山を望むことができます。

敷地東側に大和川流域の支流の大乗川が流れ、付近は農地の宅地開発が進行しているものの全体としては河内の田舎の風情を残しています。

本計画は閉校となった高等学校の校舎を一部増築によって支援学校として再生させる事を目的としているが、立地の特性(コンテキスト)を読み、この支援学校全体に河内平野の歴史・文化・景観に根づいた集落的な風情をもたせる事を意図しました。

既存校舎、体育館と増築校舎を口の字型回廊でつなぎ、中庭を中心に屋外遊具施設や、学習農園などの屋外空間を合理的・機能的な配置にする事で、全体が有機的につながる活々とした学習空間を創造しています。